

# みみよい

## なお知らせ!

第 32 号

平成 28 年 11 月 15 日発行

\* 佐賀県聴覚障害者  
サポートセンターだより



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳

例年「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」として開催された熱気球の祭典。今年は19年ぶり世界大会として開催されました。

世界のトップレベルのバルーンニストが2年に一度集結する「熱気球のオリンピック」と、佐賀ならではの取り組みを紹介します。

開催期間:10月28日(金)~11月6日(日)

競技飛行は10/31から7日間

## 22nd FAI World Hot Air Balloon Championship

# 2016 佐賀熱気球世界選手権

31か国 105機が参加

大会名称が「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」となった1981年から35年。

その間、1989年と1997年の2回世界選手権を開催しています。そして今年、3回目の世界選手権が19年ぶりに開催されました。

大会期間中の手話通訳は手話の会連絡協議会と聴協により19年前から続いており、本部前の受付は、ろう者も入っています。



↑本部前の受付

目的地にどれだけ近づけるかを競う、空のスポーツ

×印の真ん中を狙い、  
マーカーを投下します→

バルーンは地上の人と生の会話ができる唯一の空の乗り物。佐賀はギャラリーが多く、海外のパイロットは特に楽しみにしているようです。

佐賀県の上田選手↑  
世界選手権13位(日本代表では3位)

↑佐賀バルーンフェスタ組織委員会 水町会長  
2011年の全国ろうあ者大会佐賀大会の記念講演では、バルーンへの想いとその魅力を話していただきました。



↳ 競技エリア・放送塔前に手話通訳の台があります。

運営本部に  
手話通訳者がいます



午後の競技は強風のため中止

↑駅の階段を降りたすぐの大型ビジョンでは、競技実施の有無などを文字表示しています。



## 補聴器シリーズ⑧ - 補聴器の長所・短所 -

**長所**は、補聴器をつけることで「1対1」での会話がしやすくなり、難聴の程度や種類にもよりますが、静かな場所で相手の口元がよく見える状態で「聞き返し」が少なくなることで周囲とのコミュニケーションに自信をもてるようにもなります。後ろからくる自転車やバイクの音が聞こえやすくなることで、外出する時も余裕がもてます。テレコイルが搭載されている補聴器なら、使用できる設定にしておくことで電話の声を聞きやすくすることができます。

また、聴力だけではなく言葉を聞き分ける力の低下を防ぐことができます。自然界の音や生活音も聞こえるようになることで、生活も豊かになります。

**短所**は、金額がかさむ場合がある、調整をしていく煩わしさがある、機械なので故障することもあるといったことの他に、補聴器を使用しても苦手な環境があります。交通量の多い街中や複数人が集まる場所での会話などです。スピーカーやマイクなどの機械を通して聞こえる音など、音質があまり良くない音も補聴器をつけていても聞き取りづらくなってしまいます。ですので、病院や役所などで放送での呼び出しが苦手です。

補聴器を上手く活かしていくには、補聴器が得意な環境で使うこと、少しずつ時間をかけて、ある程度生活雑音も自分の聞こえの一部として慣れていくこと、時々補聴器店に通って、補聴器を生活スタイルに合わせて上手に使っていきけるように調整してもらうことが鍵になります。

引用・参考：補聴器完全マニュアル―耳と上手に付き合う方法／著・小宮仁、須山慶太 文芸社出版  
きこえに困ったら／東京都中途失聴・難聴者協会



### 10/16 伊万里地区原子力学習会 (写真左)

伊万里市防災危機管理課の中島 英幸 主査を講師に招き、原子力災害の特徴や市の避難計画、今後の計画をお聞きしました。情報を得るにはどのような手段があるのか、また、内容を分かりやすくしてほしいとの質問・意見がでました。

### 10/23 佐賀市総合防災訓練

嘉瀬小学校にて小雨の降る中で行われた訓練に 13名の聴覚障害者が参加しました。



### ☆ランチタイム手話

(毎週火曜日：12時20分～13時)

10/25は手話検定試験受験お疲れさま会&ハロウィン。上手くできたらお菓子が貰える手話ゲームなどで楽しく学びました。

### 11/3 江北町で 手話歌発表

嬉野高校で手話指導をした平原さんと地元手話サークルの皆さんが発表会に参加。(写真下)



### ◆巡回聴こえの相談 in 神崎市脊振支所

12月14日(水)10時～15時  
予約制で聴力測定、難聴者のピアカウンセリングを行います。聴こえに不安がある方が対象です。

### シリーズ要約筆記 ⑥「話しことば」

要約筆記の対象は話しことばです。人と話すとき、相手も話を理解しようと推察してくれているので、不完全な言い回しでも会話が進んでいきます。無意識のうちに脳が補ってくれたり、聞き逃してくれるからです。例えば、主語がなくても話の内容から理解したり「勉強しないと後で後悔するわよ」と重複語句を使っても気になりません。このように、何気なく脳が処理していることを要約筆記では文字にしていきます。

編集後記：今年も残りあとわずか。やり残しが無いように。清

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

### ＜開館時間＞

9：30～18：00

9：30～20：00(水曜)

### ＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日